

問い合わせ先

海洋情報部 監理課  
監理課長 淵田 晃一  
TEL099-250-9800(内線 2510)

平成21年4月24日  
第十管区海上保安本部

## ESIマップの提供開始！

第十管区海上保安本部では、海洋における大規模油流出事故が発生した場合、動植物や自然環境への影響を迅速に把握・評価し、的確な対応が執れるよう、管内全ての海岸線の形態(岩場・砂浜・干潟等)を図示したESIマップをインターネットで提供します。

### 1. ESIマップについて

管内沿岸域における油流出事故に備え、油防除活動の際に、的確な措置を講じるために必要な「沿岸海域環境保全情報」のひとつである海岸線の形態(別紙の「環境脆弱性指標とは」を参照)による油汚染の影響を示す環境脆弱性指標(ESI: Environmental Sensitivity Index)を、鹿児島県、熊本県、宮崎県の各県毎に、地図上に見やすく表現した「ESIマップ」(277図)を作成しました。

- ・ 鹿児島県(県本土、南西諸島北部、南部) 193図
- ・ 熊本県 54図
- ・ 宮崎県 30図

第十管区海上保安本部海洋情報部ホームページ

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN10/esi/10esi-top.htm>

### 2. Ceis Net (シーズネット) の有効活用

上記に示すESIマップ以外に、従来からインターネットを介し提供しているCeis Net (シーズネット) の刷新を図り、利用者数の制限がなくなり、表示スピードの向上や海岸写真の掲載など、利用者の利便性が大幅に改善しましたので有効に活用下さい。

海上保安庁海洋情報部ホームページ「沿岸海域環境保全情報」

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

Ceis Net (Coastal Environmental Information Service Network) とは

インターネットを利用し、必要とする海域の「沿岸海域環境保全情報」を任意に選択し、地理情報表示機能を活用して地理データ上に重ね合わせて、必要とする海域のESI情報を表示することができるシステムです。

○ 沿岸海域環境保全情報とは

海岸線の E S I 情報、藻場・さんご礁分布・うみがめ産卵地等の自然情報、油保管施設・油回収船等の係留場所・オイルフェンス保有状況等の防災情報、港・海水浴場・漁業権区域等の社会情報など、E S I マップ上では、右記のシンボルマークで表示されます。

	港灣法		鳥類生息地		その他(オイルフェンス等)
	港則法適用港		哺乳類生息地		潮汐情報
	漁港		油保管施設		港湾状況写真
	海上保安庁事務所等		係留施設		海岸線写真
	発電所		オイルフェンス展張艇		港区域、航路、米軍演習区域等
	海岸利用産業施設		グラブ船等		定置漁業権
	取水施設		タグボート		区画漁業権
	マリナー		タンクローリー車		共同漁業権
	海水浴場		作業船		国立公園区域
	潮干狩り場		廃油処理施設		国定公園区域
	海中公園		強力吸引車		ラムサール条約登録湿地区域
	天然記念物		油回収船		藻場分布
	名勝		油回収装置		珊瑚礁分布
	史跡		資機材等保有状況		干潟分布
	うみがめ産卵地		集油船		マングローブ
	海獣類生息地		高粘度油回収ネット		湿地

○ 環境脆弱性指標とは

油が漂着した場合の自然浄化能力や除去作業の困難性といった観点から、海岸線を各形態（開放性・閉鎖性、岩場・砂浜、干潟、植生など）に応じ、10段階の数値にランク分けしたものです。

ランクの数字が大きいくほど、海岸の受ける被害が大きくなります。

分類	ESI数値	線色	海岸線の種類
1	1 A		開放性海域岩海岸
	1 B		開放性海域人工構造物
2	2		開放性海域波食性台状地
3	3 A		細粒から中粒の砂浜
	3 B		砂の急斜面
4	4		粗い粒の砂浜
5	5		砂礫混合浜
6	6 A		礫浜
	6 B		捨て石状海岸
7	7		開放性海域干出平坦地
8	8 A		遮蔽性海域の磯と急斜面
	8 B		遮蔽性海域人工構造物
9	9 A		遮蔽性海域干出平坦地
	9 B		植生土手
10	10A		塩水性及び半塩水性草性湿地
	10B		淡水性草性湿地
	10C		淡水性草木性湿地
	10D		低木性湿地

# ESIマップ 参考例

## 環境脆弱性指標図(鹿児島-38) Environmental Sensitivity Index Map(kagoshima-38)

